



水俣市立
水俣第二中学校
学校便り

夢・挑戦

平成30年5月28日
水俣市立水俣第二中学校
校長 前田 裕美

学校教育目標： 夢に向かって挑戦する生徒～命の輝き 笑顔と「ありがとう」～

第8回 水俣第二中学校体育大会

スローガン

二中革新

創ろう

自分たちの手で

○すばらしい体育大会でした。

5月20日（日）、天候に恵まれ、第8回体育大会が開催されました。今年度は、12日間の練習で毎回、「二中革新！創ろう！自分たちの手で！！」と、スローガンをみんなで大きな声で確認しながら進めてきました。



○私は開会式で、「これまでの取組をみている、重みのある大会になると確信する。」と言いましたが、まさに生徒たちの頑張りは素晴らしいものでした。入場行進のかけ声や開閉会式の背筋を伸ばした凜とした姿、短距離のスピード、長距離の持久力、各学年競技でのまとまり・楽しさ・盛り上がり、そして3年学年競技でのほほえましさや、リレー・綱引きでのチームワーク、練習を積み上げてきた見事な応援団演舞、「ダンスフェスティバル」の笑顔はじける元気いっぱいの姿等々、随所に見応えがありました。また、各係の仕事も、責任を持って行って、「中学校の体育大会は、自分たちでスムーズに進めていくんですね。」という保護者の方の声もいただきました。

○閉会式も終わり、解団式をしている時、自発的に始まったお互いの団をたたえ合うナイスコールには、思わず目頭が熱くなりました。

○二つの団に分かれて練習を積み、競い合った体育大会でしたが、終わってみると、素晴らしい一つのまとまりになっている、風格ある二中生でした。

【2年保護者の方より】「（前略・・・）見ている方も応援している方も大盛り上がりの日でした。最後まで諦めず、やりきったのではないのでしょうか。一人ひとりの目標達成ができた体育大会になったと思います。楽しませてくれた子どもたちに感謝です。そして、先生方、毎日暑い中の練習など大変お世話になりました。またいい思い出ができました。」

【1年保護者の方より】「ついこの前まで小学生だったのに・・・今日の体育大会、感動しました。上級生、かっこよかったです！この3年間で、どんな成長をするんだろう、とワクワクしています！」

ご支援いただきました来賓の皆様、参加してくれた小学校6年生の皆さん、ご理解・ご協力いただきました保護者・地域の皆様、様々な場面での応援、誠にありがとうございました。これからも「創ろう 自分たちの手で」と歩み続ける二中生をよろしくお願い致します。



三年生徒作品より



- お疲れさん みんなで頑張り 最高た
- 両団に ナイスプレーと 伝えたい
- 今までで 一番笑った 体育大会
- 負けたけど 笑顔で終われて 最高た
- 最高の 仲間と体育大会 ありがとう



一人一人のきらきらとした命の輝きと、笑顔と「有り難う」の言葉があふれる一日でした。



命を支えるもの～命の輝き

4月末の全校集会より



- 「アメリカの大学の教授が、木箱を作り、そこに砂を入れて1本のライ麦の苗を植え、水だけで3ヶ月育てたそうです。3ヶ月後に箱から取り出し、広がっている根の長さを計測してみたところ、根毛の先にある顕微鏡でしか見えないようなものまで全部合わせると、何と1万1200キロメートルもあったそうです。」
- 「1本のライ麦が砂の中から水だけ吸い上げ、生き続けるために、地球の4分の1にも匹敵するような長さの根を張りめぐらせ、その命を支えていたのです。そう考えると、その麦は色がさえないとか、穂が付いていないとか文句を言う気にはなれません。そこには生き続けるというだけで、ものすごい努力の賜。生きるということは、実に壮大な営みです。」
- 「私たち人間もまた、たった一つの針の先より小さい貴重な受精卵が、いくつもの環境を乗り越えながら、分割を繰り返し繰り返し・・・そして今ここにいるあなた達です。一人の人間の血管の長さは、約10万キロ。地球2周半もあります。命があること、今、生きているということは、当たり前では無く有り難い事です。その命を輝かせて欲しい、と思います。189人のみなさんと先生方とで過ごすこの二中での一年間がきらきらと命の輝く毎日であるように願っています。」

熊本家庭教育支援条例を知っていますか？

全国に先駆けて作られた条例です。お子様の健やかな育ちのためにぜひお知らせください。(詳しくは、県ホームページや本校PTA総会資料をご覧ください。)

